



# 地域の先生方へ

平素より大変お世話になっております。

当院皮膚科では、地域の先生方の日常診療を支える専門的バックアップを目的として、主に下記疾患に対応しております。

外来で治療に難渋する症例や、専門的評価/治療をご検討の際はご紹介ください。

## 1 湿疹・乾癬などの炎症性皮膚疾患

### ☑ 対象疾患

- アトピー性皮膚炎
- 各種湿疹・皮膚炎群
- 乾癬
- 掌蹠膿疱症 など



### ☑ このような場合にご紹介ください

- 一般的な外用薬や内服薬でコントロールが不十分
- 外用療法の再評価や指導が必要
- 光線療法，生物学的製剤，分子標的薬の導入を検討すべきか

### ☑ 当院で可能な治療

- 外用療法の再検討および具体的な外用指導
- 半身型ナローバンドUVB（デルマレイ®200）による光線療法
- 生物学的製剤（抗IL-4/13/17/23/31抗体製剤など）
- 分子標的薬（JAK/TYK2阻害薬など）



導入後、状態が落ち着きましたら患者さんをお戻しさせていただきます。

※生物学的製剤や分子標的薬の導入をご希望の際は、「前治療歴（外用剤の名称・使用期間）」をご記載いただけますと、導入がスムーズになり非常に助かります。



## 2 帯状疱疹

- ウイルス抗原の検査・抗ウイルス薬による治療
- 疼痛が強い症例や重症例は入院加療も可能

診断や対応に迷われた際もお気軽にご相談ください。

### ☑ ワクチン接種

- シングリックス® 接種が可能
- 19,800円/本（自費にはなりますが比較的リーズナブルです）



## 3 皮膚潰瘍・褥瘡・フットケア

治癒遷延の背景には「低栄養」「糖尿病」「末梢循環障害（閉塞性動脈硬化症・下肢静脈瘤など）」といった、皮膚以外の要因が関与している場合が多々あります。当院では総合病院の利点を活かし、関連診療科と連携しながら包括的な治療が可能です。

### ☑ 実施可能な治療

- 外用療法
- (麻酔を要しない) デブリードマン
- 局所陰圧閉鎖療法
- 他科入院/連携による原因疾患の精査・治療



## 4 皮膚腫瘍

- ダーモスコピー検査
- 皮膚生検
- (液体窒素による) 冷凍凝固療法
- 根治切除が必要な場合は、形成外科と連携



悪性が否定できない症例や、判断に迷う症例もお気軽にご相談ください。

患者さんのご紹介につきましては、地域連携課を通じてお問い合わせください。



お電話でのご予約  
06-6552-0390



FAXでのご予約  
06-6552-0560



〒551-0032  
大阪市大正区北村3-4-5

